

川上ダム通信

2013
2
月号



Vol. 89
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> [✉ somu1@lily.ocn.ne.jp](mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp)

岡本市長が川上ダム建設事業を視察



川上ダムを視察される岡本市長（写真中央）と辻上副市長（同左）

1月22日（火）に伊賀市の岡本市長が、辻上副市長とともに川上ダム建設事業の現地視察に来られました。昨年11月に就任された岡本市長、今年1月に就任された辻上副市長にとって、川上ダム建設事業を視察されるのは初めてのことです。当日は伊賀市役所を出発し、木津川の固定堰や平成24年台風17号による浸水地点を視察された後、川上ダム建設予定地に来られました。



オオサンショウウオ保護池の視察の様子

最初に、ダム建設予定地で現在のダム計画等について説明を聞かれたのち、付替県道青美線工事現場へ移動して貯水池横断橋工事の状況を視察されました。その後、オオサンショウウオ保護池では、保護している成体をご覧になりながら、オオサンショウウオの保全対策についての説明を聞かれました。

あいにくの雨模様ではありましたが、岡本市長と辻上副市長は終始熱心に説明をお聞きになり、事業に対する理解を深められた様子でした。

【調査設計課 大谷知樹】

青山美杉線の工事進捗状況

貯水池横断橋工事

貯水池横断橋のP2橋脚から伸びる橋桁は、現在、13ブロックまでの施工を完了し、14ブロック目の施工にとりかかっています。

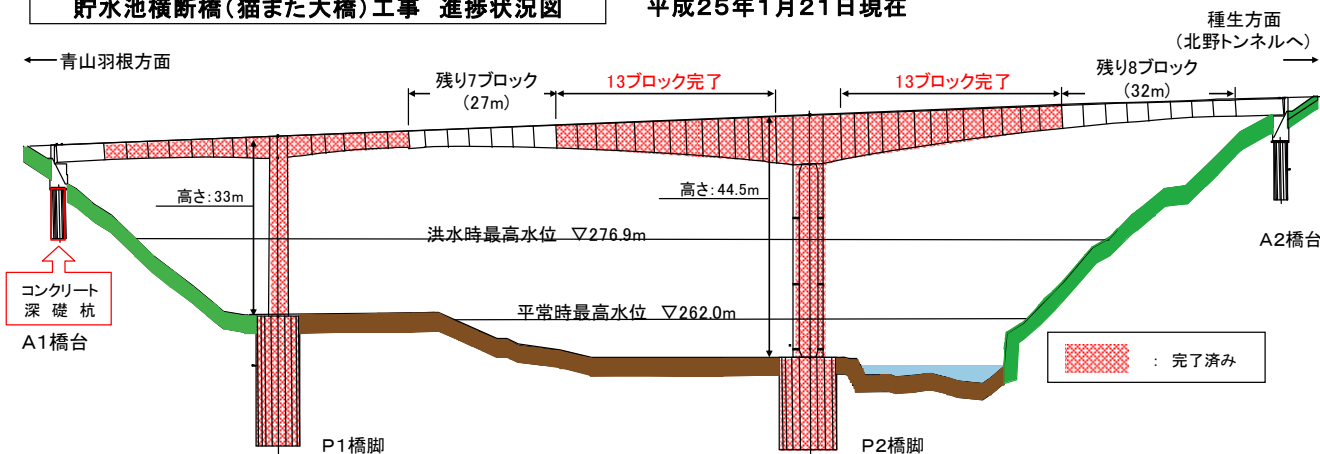
11月より作業を開始したA1橋台は、1月上旬より2本のうち1本目のコンクリート深礎杭（直径2.5m、深さ9.5mの基礎杭）の掘削を開始し、25日にコンクリートを打設しました。

2本目の施工は2月上旬頃開始する予定です。



貯水池横断橋(猫また大橋)工事 進捗状況図

平成25年1月21日現在



A1橋台 深礎杭の掘削状況



A1橋台 コンクリート打設翌日の深礎杭

【工事課 廣瀬早苗】

水害防備林の研究

当建設所ホームページに掲載している本紙（2010年12月号）をご覧いただいたことがご縁で、早稲田大学大学院教育学研究科で自然地理学を専攻されている江端信浩さん（京都府出身）から伊賀の水防林についてお問い合わせをいただきました。

江端さんは「木津川の水防林」を研究テーマに論文を執筆中で、水防林の防災機能だけでなく、伊賀傘（伊賀地方で伝統的に作られている和傘）の材料供給といった竹林と人々の生活との繋がりといった文化的な側面も加えた大変興味深い研究に取り組まれています。



木津川沿いを巡る江端さん



職員の説明に耳を傾ける江端さん

また、持ち前の体力で伊賀市内をレンタサイクルで走り回り、木津川源流までも徒歩で踏破される行動派です。

川上ダム建設所では、江端さんを木津川沿いにご案内するとともに所有する文献・資料を提供するなどささやかながらご協力させていただきました。

今後、どのような論文に仕上がるのでしょうか。これからの江端さんのご活躍に注目です。

【調査設計課 金山明広】

環境用語集 #9 …オオサンショウウオ…

環境用語集第9回目は、**オオサンショウウオ**（英語名：Japanese giant salamander 学名：Andrias japonicus）について説明します。

カエルやイモリのように、育つ過程で水中と陸上の両方の環境が必要となる動物を両生類といますが、オオサンショウウオは、この両生類のなかで世界一大きいものです。

昼間は川の横穴に潜っていて、夜に行動します。体は茶色や黒色で、イボがたくさんあり、前足は4本指、後足は5本指という姿をしています。

また、3千万年以上前から、形が変わっていないことから「生きた化石」と呼ばれ、国の特別天然記念物に指定されています。

川上ダム建設所では、国の特別天然記念物であるオオサンショウウオについて、有識者の方々からご指導・ご助言をいただきながら、平成8年度から保全対策の調査・検討を進めています。

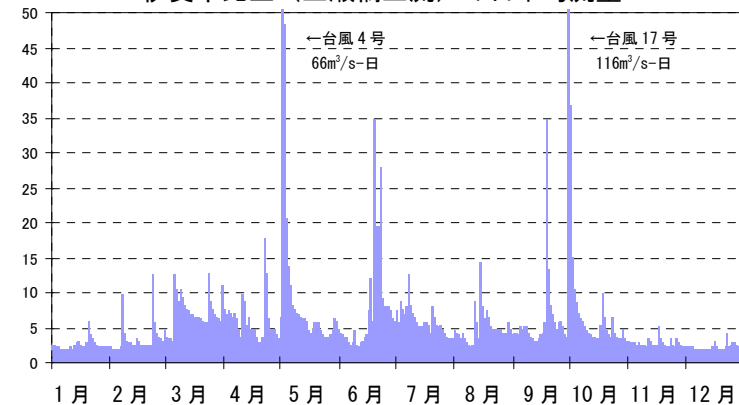
【環境課 笹原智弘】



全長1mを超えるオオサンショウウオ

データで見る木津川の表情

日平均流量 (m³/s-日) 伊賀市比土 (上瀬橋上流) の日平均流量



台風17号襲来時の上瀬橋の様子
(平成24年9月30日午後6時頃)



平常時の上瀬橋の様子
(平成25年1月18日午後2時頃)

川を流れる水は、雨が降ると増え、晴天が続くと減っていきませんが、増えすぎると洪水災害を引き起こし、逆に少なすぎると干害など社会活動に影響を与えます。

ダムは、こうした川の水の増減による脅威から市民の生命・財産などの社会生活を護り、また、川の水が途切れないよう河川環境を維持する働きを担います。

川上ダム建設所では木津川の流量を観測していますが、昨年(平成24年)はどのように流量が変化したのか振り返ってみましょう。

グラフは伊賀市比土(上瀬橋の上流地点)で観測した日平均流量のデータ※です。

最も多量の水が流れたのは9月30日、日平均で約116m³/sの流量が流れています。この日は台風17号が襲来して大量の雨をもたらし、午後6時には一時的に約680m³/sもの激流を記録し、浸水被害が発生し避難勧告が発令されました。反対に最も少なかったのは1月12日、日平均で約1.5m³/sでしたが、幸いにも昨年1年間は木津川の水が流れの途中で途切れることはありませんでした。

こうした観測データの蓄積が、10年に1回、100年に1回襲来する大規模な災害に対する防災・減災に役立てられることはいうまでもありません。

【調査設計課 本田真章】

※ 観測した水位から1日の平均流量を計算した速報値です。

イベントのお知らせ

第27回名張青蓮寺湖駅伝競走大会

青蓮寺湖を周回する駅伝競走大会が今年も開催されます。申込締切(2月6日)が近づいていますので興味のある方はお早めにお問い合わせください。

開催日: 2月24日(日) 10:30スタート
開催場所: 青蓮寺湖周辺
問い合わせ先: 名張市武道交流館いきいき 内
名張青蓮寺湖駅伝競走大会事務局
TEL 0595-62-4141

八日戎(ようかえびす)

“えべっさん”の愛称で親しまれる「八日戎^{えびす}」が蛭子神社で開催されます。当日は、縁起物の吉兆(福笹など)を買い求める人々が賑わいます。

開催日: 2月7日(木)、8日(金)
開催場所: 蛭子神社
問い合わせ先: (社)名張市観光協会
TEL 0595-63-9087

編集後記

新年に入り、ますます寒さが増して朝は霜が降りていることも多い今日この頃、寒い寒いと室内にばかりいると運動不足まっしぐらです。たまには外に出て体を動かすことも大事ですね。

【広報誌発行事務局】

編集長 神矢(所長)
デスク 大友(総務課長) 田中(工務課長)
編集 金山(調査設計課)
記者 湯本(総務課) 松高(第二用地課)
本田(調査設計課) 笹原(環境課)
廣瀬(工事課)



ISO14001: 2004
JQA-EM5769

○川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

又は「川上ダム通信」で検索

○ご意見・ご感想はこちらへ somu1@lily.ocn.ne.jp